



室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター No.76

雑誌名	室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター
巻	76
発行年	2004-09
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009300

平成16年度 第1回CRDセミナー

日 時：9月28日(火) 15時00分～
場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター
2階 創設10周年記念産学官交流室
共 催：産学官連携推進事業実行委員会
地域共同研究開発センター研究協力会

総合テーマ 水産系廃棄物のリサイクルプロセスの開発に関する研究

テーマⅠ：酸浸出／電解法によるイカ内臓からの重金属の除去および養魚用飼料としての有効利用

北海道立工業試験場 環境エネルギー部長 作田 庸一

北海道における水産業は平成13年漁業生産額が全国1位の287,240百万円で、全国の17.2%を占める基幹産業である。しかし、一方ではその生産活動に伴い年間約40万トンの漁業系廃棄物が排出されており、現在、その多くは埋立または焼却処分されている。しかし、有害重金属を含むホタテウロおよびイカゴロなどは重金属の安全な処理が必ずしもなされておらず、将来の環境汚染が懸念されることから、その適正処理技術の開発が強く求められている。

本講演ではイカゴロは動物性たんぱく質が豊富で飼料として魚の嗜好性も高いことから、有害重金属を除去し養魚用飼料の原料としてリサイクルすることを目的に、これまでホタテウロ処理において検討してきた湿式製錬プロセスを応用した酸浸出／電解法による重金属除去法についてイカゴロへの適用性を検討したので報告する。

テーマⅡ：硫酸浸出および水浸出の2段階処理法によるイカ内臓からの重金属イオンの除去

室蘭工業大学 機器分析センター長 嶋影 和宜

私たちの日常生活で身近に接する生体物質には、有害金属を含む物質も多く認められるが、これらの物質を食生活に利用する場合には、加工処理工程中で有害金属を除去・廃棄するのが通例である。イカ加工残渣中にもカドミウム、亜鉛、銅などの重金属イオンが濃縮されているため、環境保全の立場から、人工資源としての新しい有効な処理方法の開発が求められている。

そこで、本講演では、当研究室で湿式製錬プロセスを応用して行った、硫酸浸出および水浸出の2段階処理法によるイカゴロからの重金属イオンの除去に対する諸因子の影響について調査した結果を報告する。

「第1回産学交流プラザ2004ーIT・エレクトロニクス分野ー」について

東京にオフィスのある「コラボ産学官 in 東京オフィス」において、「IT・エレクトロニクス分野」でコラボ産学官主催、東京オフィスを構えている大学等の共催で「第1回産学交流プラザ2004」が東京商工会議所会員企業を対象に開催されました。

開催日時：平成16年7月28日(水)

開催場所：コラボ産学官プラザ in TOKYO

時間：14:00～15:00 6F 大学事務所見学

15:00～17:00 参加大学プレゼンテーション

17:00～18:30 懇親会

URL：<http://www.tokyo-cci.or.jp/venture/koryu/sangakukoryu.htm>



当日は東京オフィスの見学会も催されて、多くの来場者が見えられ、中には就職の斡旋を申し出て下さった企業もあり、この東京オフィスの多角的な意義が見られました。

後半はシーズ紹介と懇親会が催され、室蘭工業大学からは

1) IT分野：情報工学科の魚住助教授のSVBLでの研究シーズ

「Web サービスとしての相談システムの開発」

2) エレクトロニクス分野：電気電子工学科の今井教授、佐藤助手のシーズ

「光ファイバ・ブラッググレーティング歪センサーの開発」

を紹介しました。参加者はコラボ産学官会員及び朝日信用金庫の取引相手に主に中小企業の方々を中心に150人の参加があり、懇親会場では講演に関するパネルを展示して多くの質問やコラボレーションの可能性について活発な交流が行われ、北海道でのイベントでは得られない新しい共同研究相手としての市場開拓の第一歩が踏み出されました。中には室蘭工大のOBの方も見られ、今後の大学の産学連携での首都圏の相互のバックアップを展開できればと期待しています。2回目は11月19日に「ロボット技術と機械分野」で開催予定です。お近くの方、又はお時間の許せる方は是非ご参加下されば幸いです。詳しくは<http://www.collabosgk.com/info/info.htm#top>でお知らせします。

環境広場さっぽろ2004について

平成16年7月30日(金)～8月1日(日)アクセス札幌で開催され、当日は22,016人の参加がありました。室蘭工業大学からは地域共同研究開発(CRD)センターの業績紹介と、環境の中でも建築関係の技術シーズを中心として、以下の4種類分野の紹介を致しました。

1. 雪利用の環境技術 2. 給湯給配水のピンホール腐食、アルミ耐食技術シーズ

3. 寒冷地住宅の断熱工法等の技術シーズ 4. 室蘭工大の産学連携の実績と紹介
当日は上田札幌市長も直接ブースに立ち寄られ、特に1の技術に関心を示されました。

